

第 60 回定期演奏会の感染症対策

令和 3 年 10 月 26 日 改定

内容

【来場者の感染防止】	1
1. 会場	1
2. 感染防止対策の周知.....	1
3. チケット販売と発券.....	2
4. 入場時の対応.....	2
5. 客席	3
6. 開場時、休憩時間における対応	3
【出演者・スタッフの感染防止】	4
1. 当日の会場入りの際の対策.....	4
2. リハーサル、公演時の舞台上、公演終了後の対策	4
3. 舞台裏、控室・楽屋等での対策	5
各サイトのリンク	5

【来場者の感染防止】

1. 会場

- (1) 入場口付近及び各所に手指消毒剤を設置し、使用を促す。
- (2) 非接触型の体温計を配備し、利用を案内するスタッフを配置する。
- (3) マスクを忘れたお客様及び出演者等に対して配布や販売可能なマスクを準備する。
- (4) 接客や対面での案内を行うスタッフには、お客様と十分な間隔（概ね 1m 以上）を取るとともに、マスクを着用してもらう。
- (5) トイレなどの共同利用スペースについては、施設側が消毒液を設置している。
- (6) トイレについては、ハンドドライヤーは使用禁止とする。
- (7) ホール内のお客様が入場するすべてのエリアで適切な換気を実施できるよう施設側と調整している。入場時や休憩時は扉等を解放し外気を取り入れる。

2. 感染防止対策の周知

来場者に以下を徹底いただくと共に、出演者と接する入り待ちや出待ち、プレゼントや花

束等については控えていただくよう予め周知する。

- (1) 感染防止のための公演主催者からの要請事項を守る。
- (2) 会場における「3密」を避ける。
- (3) 会場内ではマスクの常時着用を徹底しお客様同士の接触は控え、会話は必要最低限に留め、マスク着用下においても咳をする時には腕で口を覆うまたは下を向く等の咳エチケットも実践する。
- (4) こまめな手指消毒又は手洗いをを行う。接触感染防止のため不用意に自分の目・鼻・口を触らない。
- (5) 来場前に検温し、次の条件に該当する方は入場できないことを周知する。
 - ① 検温の結果、平熱と比べて高い発熱がある。
 - ② 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。
 - ③ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。
 - ④ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある。
- (6) 交通機関や飲食店等の分散利用や、公演前後の交通機関利用時等における感染防止に努めるよう注意喚起する。
- (7) 来場後、新型コロナウイルス感染症陽性とされた場合、団に連絡いただくよう周知する。

3. チケット販売と発券

チケットの販売と発券は、接触を抑制する観点から、以下のように行う。

- (1) 接触機会を減らすため、チケットはオンライン決済・発行のシステム(teknet)を利用する。teknetの公式ホームページ：<https://teknet.jp/>
- (2) 当日券の販売は行わない。
- (3) プログラムの手渡しは行わず、来場者自身で取っていただく。
- (4) チケット購入の際は、「氏名、住所、緊急連絡先」の入力が必須となる。個人情報は団内で適切に管理し、演奏会から一定期間の経過後適切に廃棄する。

4. 入場時の対応

入場時における接触を抑制する観点から、時間差入場を導入する等の対策を講じた上で、以下のように行う。

- (1) 入場するお客様に、十分な間隔（最低1 m）を確保することを求める案内を掲示する。
- (2) 入場時マスクを着用していないお客様には、マスクの着用を求め、配布や販売できるマスクを準備する。
- (3) 入場後は、手洗い又は手指の消毒を行うよう周知する。
- (4) プログラムの手渡しは行わず所定の場所からお客様ご自身で取っていただく。
- (5) お客様に出演者の入待ちを控えていただき、プレゼントや花束等は控えるよう周知する。

5. 客席

客席は、感染状況を踏まえながら、公演中の接触をできるだけ避ける観点から、以下の対策を講じる。

- (1) 最前列中央座席は使用しない。
- (2) 入場者とその座席が確認できるよう指定席制とする。
- (3) ブラボー等の大声での声援は行わない事を徹底し、拍手のみとしていただくよう周知する。

6. 開場時、休憩時間における対応

(1) 開場時及び休憩時間、公演終了時における対応

- ・マスクの着用について注意喚起・徹底する。会話は必要最低限に留め、自席で静かに過ごすよう周知する。
- ・ロビーやホワイエでは十分な間隔（最低1 m）を確保し、会話は必要最低限に留めるように周知する。
- ・不特定多数の人が触れる場所を触れた場合には手洗い又は手指の消毒を周知する。
- ・お客様ご自身の手で不用意に目・鼻・口等を触らないよう周知する。
- ・ロビー・ホワイエ内での水分補給以外の飲食は控えるよう周知する。
- ・体調不良時は、スタッフにお声がけいただくよう周知する。

(2) トイレ

- ・トイレでは、十分な間隔（最低1 m）を空けて整列するよう周知する。
- ・トイレのハンドドライヤーは使用禁止とし、ハンカチの持参使用を周知する。
- ・トイレの使用後は、蓋を閉じてから流すよう周知する。

(3) 差し入れ

- ・プレゼントや花束等の差し入れはお断りする。

【出演者・スタッフの感染防止】

1. 当日の会場入りの際の対策

公演当日及びリハーサル当日、会場入りする際は、出演者・スタッフは次のようなことを徹底する。

- (1) 公演当日及びリハーサル当日は会場入りする前に自宅等で検温し、平熱と比べて高い発熱がある場合、及び体調不良の症状(咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状がある場合)があった場合は自宅待機とし、PCR 検査の受診を促し公演主催者の指示を受ける。
- (2) マスク着用を徹底し、マスク着用下においても咳をする時には腕で口を覆う、または下を向く等の咳エチケットも実践する。
- (3) 会場入りしたらまず手洗い、手指の消毒をする。
- (4) 控室、楽屋では、十分な間隔を保ち、常に換気を行う。

2. リハーサル、公演時の舞台上、公演終了後の対策

舞台上では接触を抑制する観点から、次のような行動に努める。

- (1) リハーサル中は、演奏者・スタッフは会話をする場合にはマスクを着用する。マスク着用下においても咳をする時には腕で口を覆うまたは下を向く等の咳エチケットも実践する。会話する際はマスクを着用していなければ十分な距離を確保する。
- (2) 舞台上への楽器、椅子及び譜面台等備品の搬入、セッティング及び搬出時、又、譜面台への楽譜のセッティング、回収の際は、特定の人が担当し不特定多数が触れないようにする。
- (3) 舞台上の椅子や譜面台はこまめに消毒する。
- (4) 管楽器の結露は床に直接落とさず用意したペットシートに吸収させる。
- (5) 楽器は演奏者自身が運ぶ。
- (6) 公演終了後は舞台裏、控室や楽屋には長居せず、速やかに着替え等を済ませる。
- (7) 公演後の関係者等による会食は行わない。

3. 舞台裏、控室・楽屋等での対策

- (1) 同時に多くの人が同一の場所を利用することの無いように、一人一人部屋割りを決めている。
- (2) 一つの部屋につき、十分な距離を保つことができる人数に抑えている。
- (3) 舞台裏、控室・楽屋では、マスクの着用を徹底する。
- (4) 食事の前、トイレの後、結露水や唾液・飛沫が付着していると考えられる部位に触れた後、目・鼻・口に触れる前は、手洗い、手指の消毒をする。
- (5) 食事は指定された場所のみで行う。
- (6) 楽屋には消毒液を設置する。
- (7) トイレ
 - ・トイレでは、十分な間隔を空けて整列するよう周知する。
 - ・トイレのハンドドライヤーは使用禁止とし、ハンカチの持参使用を周知する。
 - ・トイレの使用後は、蓋を閉じてから流すようにする。
- (8) 終演後に客席、ステージ、楽屋・控室、親子室、受付周りの除菌を行う。
- (9) 定期的な換気をし、一定時間ごとに扉や窓等を解放し外気を取り入れる。

各サイトのリンク

- ・日野市民会館公式ホームページ：<https://www.hino-kaikan.jp/topics/post72461>
- ・学生課 課外活動ガイドライン：<https://gs.tmu.ac.jp/assets/files/210930kagaiguide.pdf>
- ・teket の公式ホームページ：<https://teket.jp/>